

社内起業家育成制度第4号案件が、2019年8月に本格運用を開始

渋谷の街まるごとメディア「ROADCAST」の壁面100カ所を達成

～本格運用後の第1号案件として、「SHIBUYA/森山大道/NEXT GEN」を実施～

東京急行電鉄株式会社

当社は、2018年7月から開始した、落書きなどに悩む未活用壁面を活用する街メディア事業「ROADCAST(以下、本事業)」について、当初目標としていた渋谷エリアの壁面100カ所の借用が完了し、同時展開が可能となったため、2019年8月から本格運用を開始します。

本事業は、渋谷エリアの路地裏に多く点在する住居や店舗などの未活用壁面を当社が一括して借用し、それらを同時展開することで街を丸ごとメディア化し、プロモーションやアート作品展示などを行うことで、新たな文化の発信、街の活性化を目指す事業です。「社内起業家育成制度」の第4号案件として立ち上がり、2018年7月から、さまざまな企業とコラボレーションして12件のテストマーケティングを実施してきました。本格運用の第1号案件では、ソニー株式会社(以下、ソニー)とともに「SHIBUYA / 森山大道 / NEXT GEN(ネクストジェン)」(以下、本企画)を実施します。

本企画は、渋谷駅周辺において大規模再開発プロジェクトを推進し、「エンタテインメントシティ SHIBUYA」の実現を目指す当社と、テクノロジーとの融合で新たなエンタテインメントを提供するソニー、そして渋谷に縁のあるストリートスナップの第一人者で、「写真のノーベル賞」とも言われる「ハッセルブラッド賞(2019年)」を受賞した森山大道氏が共同し、『STREET』『UNDERGROUND』『公募作品展』の3つの新たな都市型アート展を展開するものです。

『STREET』は、渋谷の裏路地(ストリート)を活かして新しい文化の発信、街の活性化を目指す ROADCAST の約100カ所の壁面を舞台に、そのうち63カ所に渋谷にまつわる森山大道作品約147作品を同時に展示する世界最大級の屋外型写真展で、8月2日(金)～15日(木)の期間開催します。

『UNDERGROUND』は、東横線・副都心線渋谷駅改札内地下にて、森山大道氏の新作写真、次世代クリエイター(NEXT GEN)を代表し、新進気鋭の映像作家、山田智和氏の新作映像、さらにソニーが公募で選出した2名のNEXT GENの作品を展示し、それぞれの視点で切り取った渋谷の「今」が広がるエキシビションで、8月1日(木)～4日(日)の4日間限定で開催します。あわせて、本企画を記念した記念入場券を2,000枚限定で発売します。

加えて、8月1日(木)～9月中旬の期間、ソニーが運営する情報発信拠点「ソニースクエア渋谷プロジェクト」にて、公募で選出されたNEXT GEN6名の作品を展示する『公募作品展』を実施します。

当社は、今後もさまざまな企画を通じて、渋谷の情報発信力を高め、いつ訪れても旬な情報に出会えるような、「渋谷ならではの」体験ができる街にすることで、「エンタテインメントシティ SHIBUYA」の実現を目指します。本プロジェクトの詳細は別紙の通りです。



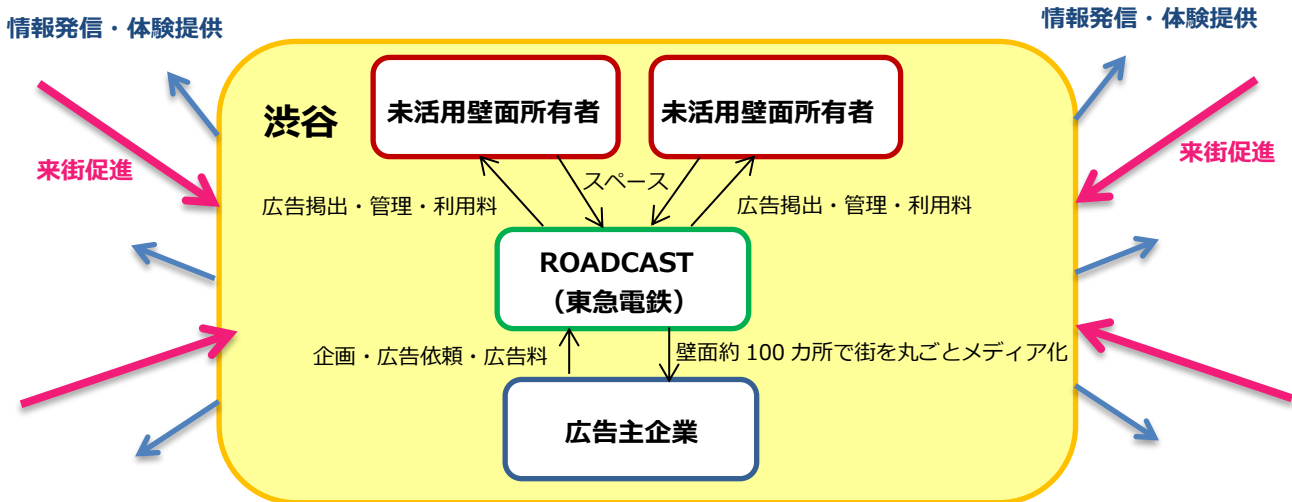
▲「SHIBUYA / 森山大道 / NEXT GEN」キービジュアル

以上

【別紙】

1. ROADCAST概要

(1) サービス運用イメージ図



(2) サービス特徴

- 当社が一括して壁を管理することで、壁面所有者の落書き被害などの悩み解消
- 単純広告でなく、渋谷の街にある100カ所の壁面の同時展開により、渋谷のビルボード1面程度の料金で、大きなインパクトを生み出す
- 裏路地という目にする情報が少ない場所での掲出のため、通常のメディアよりも深いコミュニケーションが可能に
- 路地裏での新たなエンタテインメントの提供で、街の回遊性を高める

2. 「SHIBUYA/森山大道/NEXT GEN」プロジェクトについて

(1)「SHIBUYA/森山大道/NEXT GEN」概要 (オフィシャルサイト: <https://www.daido-shibuya.com/>)

- ・開催期間: 2019年6月6日(木)～9月中旬(予定)
- ・内容

東急電鉄、ソニー、写真家・森山大道氏が、次世代クリエイター(NEXT GEN)とともに、100年に1度と言われる再開発が進み、刻々と変化を遂げる街・渋谷を舞台に、時代を革新するクリエイターの創造力が連鎖し繋がる、都市型アート展示を創り出します。

(2) 『STREET』実施概要

- ・開催期間: 2019年8月2日(金)～8月15日(木)
- ・開催場所: ROADCAST 渋谷駅周辺約100カ所(うち、作品展示63カ所)

・内 容: ストリートスナップの第一人者である森山大道氏の作品約147点を、渋谷のストリートにあるROADCASTの壁面を舞台に展示します。『UNDERGROUND』もしくは『公募作品展』と、『STREET』の作品を撮影し、「#SHIBUYA 森山大道」を付けてTwitterまたはInstagramでシェアすると、森山大道作品のポストカードがもらえる「SHIBUYA / 森山大道 / NEXT GEN ソーシャルギャラリー」も実施します。

・展示マップ/作品タイトル(一部)



(3)『UNDERGROUND』

- ・開催期間:2019年8月1日(木)~8月4日(日)
- ・開催時間:10:00~21:00(※1日(木)は17:00開始、4日(日)は19:00まで)
- ・開催場所:東横線・副都心線渋谷駅地下(改札内) ※改札内のため、入場券や乗車券などが必要です。
- ・内 容:森山大道氏、NEXT GEN を代表して映像作家の山田智和氏、さらにソニーが公募で選出した NEXT GEN 2名とが、それぞれの視点で切り取った渋谷の「今」の写真や映像を展示するアートエキシビションです。あわせて、本企画の記念入場券を2,000枚限定(大人・小人 各1,000枚ずつ)で、駅構内の特設ブースにて発売予定です。

※記念入場券の発売時間、場所など詳細については、オフィシャルサイトにて後日ご案内します。



▲記念入場券イメージ(大人130円/小人70円)

(4)『公募作品展』

- ・開催期間:2019年8月1日(木)~9月中旬
- ・開催場所:ソニースクエア渋谷プロジェクト(東京都渋谷区神南1-21-3渋谷モディ1F)
- ・開催時間 :11:00~21:00
- ・内 容:ソニーが6月に開催した「SHIBUYA / 森山大道 / NEXT GEN」の公募にて、審査員によって選出された19歳~25歳の次世代クリエイターたちによる「2019 SHIBUYA」をテーマにした作品展示。

<森山大道氏プロフィール>



1938年大阪生まれ。写真家・岩宮武二、細江英公のアシスタントを経て64年独立。写真雑誌などで作品を発表し続け、67年「にっぽん劇場」で日本写真批評家協会新人賞受賞。68－70年には写真同人誌『プロヴォーク』に参加し、ハイコントラストや粗粒子画面の作風は“アレ・ブレ・ボケ”と形容され、写真界に衝撃を与える。以降、近年に至るまで国内外の美術館での展覧会多数。2019年ハッセルブラッド財団国際写真賞受賞。主な写真集に『にっぽん劇場写真帖』（1968）、『写真よさようなら』、『狩人』（1972）、『光と影』（1982）などがある。個人写真誌『記録』は1972年のNo.1に始まり、73年のNo.5で一時中断～2006年11月のNo.6 から復刊し、現在も継続出版中。最新号はNo.41。近年は『無言劇』、『Pretty Woman』（2017）、『Tights in Shimotakaido』、『Lips! Lips! Lips!』（2018）などを出版。

<山田智和氏プロフィール>



クリエイティブチーム「Tokyo Film」主宰/Caviar 所属。1987年生まれ、日本大学芸術学部映画学科映像コース出身。SUNTORY、GMO クリック証券、GIVENCITY、docomo などのブランド広告や、サカナクション、米津玄師、KID FRESINO、あいみょんらアーティストのミュージックビデオ、ファッション誌での写真連載からTVドラマまで、その活動は多岐に渡る。シネマティックな演出と現代都市論をモチーフとした表現が特色。『SPACE SHOWER MUSIC AWARDS 2019』にて「BEST VIDEO DIRECTOR」を受賞。

以 上